

三島木経済通信

11月26日

発行所
株式会社FPリサーチパートナーズ
〒213-0001
川崎市高津区溝口3-7-21
044-814-3553
協賛
溝の口夜大学
電子版アドレス
fp-research.jp/keizai/1126

資産を「守る」「育てる」
「引き継ぐ」

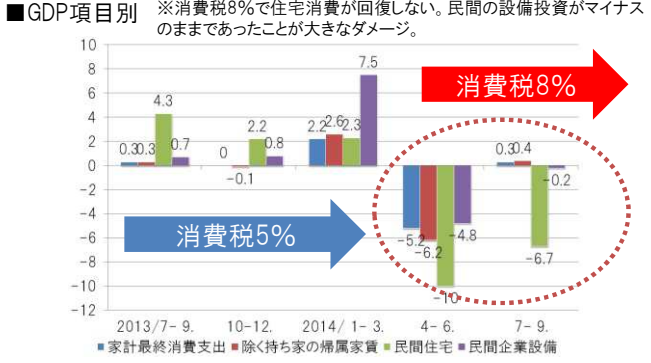
アセットコンサルティング
プライベートバンクservice
詳しくはHPにて

Tel : 044-814-3553
www.fp-research.jp



将来へ負担先送りは正しい判断か

消費税増税の判断を決めるGDP(国内総生産)が17日発表された。ブルーのグラフは3ヵ月毎のGDPだが消費税8%後は冷え込んだが、今回はプラスに浮上することが想定されていた為ショックが大きい。項目別にみると家計の最終消費は0.3と一応のプラスになっているが、住宅取得などは依然落ち込んだままでマイナス6.7となった。私のオフィスに住宅取得相談は非常に多いが確かにこの半年は少し相談件数が減っていたと感じ、個人的にもマイナス成長は実感している。項目の中で最もショックなのは民間企業設備がマイナス0.2という所だ。景気が回復するには企業の先行投資が必要不可欠と考えればこのマイナスが一番心象が悪い。この結果を踏まえ消費税増税は先送りとする方針に転換されたが、必要な増税の先送りとなってしまった。



また選挙?の声も...

日本経済が完全回復に至らない理由は数多くあるが、決められた方針が長く続かず、毎回応急処置をしているという事だと感じる。今回アベノミクスという治療方はまだ道半ばだっただけに「また選挙か...」という治療

が続かない意味で落胆の声が多い。確かに消費税増税は我々の生活に直接的に負担が大きい、現在の年金や健康保険などの社会保障を維持して頂くには必要不可欠であることに間違いはない。増税先送り、追加景気刺激対策となると正直最終的な出口戦略はどうするのだろうと感ずる。個人的にはアベノミクス第三の矢はまだ仕掛中であっただけに継続性のある政策を続けて欲しいと感じる。

税制

軽自動車、原付平成27年増税へ

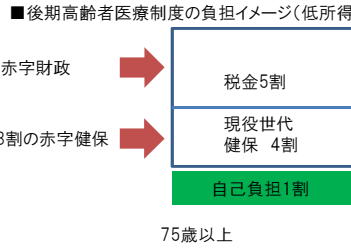
平成26年税制改正では27年より軽自動車税が増税されることとなっている。現在は年7,800円だが平成27年4月より10,800円となる。あわせて新規検査から13年を経過した車両は12,900円となる。検査から13年を経過した車両は12,900円となるが、平成27年において、既に13年を経過している軽自動車に対しての増税は見送られている。だが買い替えを促したいという観点から平成28年以降は増税となる可能性もある。今まで普通自動車よりも税的メリットが大きかったが軽自動車の普及率は伸びており大きな増税になる。50ccの原付も現在の1,000円から2,000円にアップされ、今後は今以上にエコカー優遇の方向へ向かいそう。



75歳以上1割負担、3割方向へ

赤字財政と健保負担厳しく

75歳以上の後期高齢者医療制度では低所得者において健康保険の負担割合が1割となっている。残りの9割は5割が税金、4割が現役世代の健保組合からの支援だ。健保組合の8割は赤字で現状維持は厳しくなった。今後は現在の優遇を段階的に廃止する方向で自己負担は3割程度に増える予定だ。増税出来ない方針だが特例は低所得者に行われていた為、その負担は大きい。可能な限り特例はゆるやかに正常に戻して欲しい。

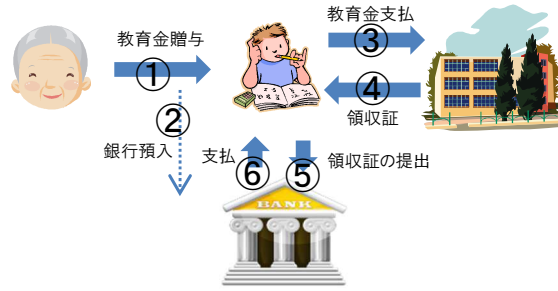


税制

教育資金贈与の非課税、贈与税に注意 期限まで使い切れないと課税に

平成25年4月から平成27年末まで祖父父母等から孫に対して教育資金の贈与が1,500万円まで非課税となっているが利用にあたっては十分に注意をする必要がある。この制度の最大利点は一度に大きな資金を移動でき相続対策の効果が非常に高いこと。また年110万まで非課税の暦年贈与は相続発生前3年以内の贈与に対して贈与は認められず財産があったとみなされてしまうが、この制度ではそのよう

■教育資金贈与の非課税イメージ図



■申請書や教育費の規定などは下記で確認できる。



うなデメリットがなく確実に資産を孫世代に移せる。デメリットは贈与した1,500万を使い切れなかった場合だ。仮に贈与された内の300万円を残してしまつたら将来的に300万円に対して贈与税の課税対象となつてしまう。利用用途が教育に限定される為、意外と使い切れないことがあるようだ。この制度は贈与したお金は信託銀行などが管理し、贈与を受けた人は領収証の金額を引き出していくので使えた金額は将来でないといけない。また贈与された側からすると、都度銀行などから引き出す為に証明書などの提出で若干手間があるようだ。通常の暦年贈与でお金を渡していく方も多いのはうなずける。来年末までの予定だが延長される可能性もある。

産業 ゴルフ人口減 歯止めかからず

ゴルフ人口の減少が拡大している。日本のゴルフ人口は1990年台前半にピークを迎え、以後減少を続けている。高齢化が進む日本の人口によるもので、2020年には団塊世代の方々が70歳を迎え、そこから先はさらに暗い見通しとなりそう。現在はビジターでも手軽にプレーをすることができ、若いプレイヤーも増えているがプレーヤーの低価格に連動するようにマナーの質も下がっていると感じる。オリンピックにゴルフがあることからテニスでいう錦織選手のような活躍でゴルフ人口を増やしたいが人口減少にどこまで歯止めが掛かるかが重要な要素となりそう。

N・ASSET Berry

- 不動産投資のコンサルティング
- 事業資金のファイナンスアレンジ
- 不動産経営のコンサルティング

「人気の東急線エリアの物件取扱多数！」
「購入・売却コンサルティング随時受付中！」

ご要望をお気軽にお問合せ下さい。

不動産コンサルティング技能登録者
CPM有資格者、CFP認定者が対応いたします。



お問い合わせ
Tel: 044-382-0200

詳しくはwebサイトから
エヌアセットベリー

N・ASSET
n-asset.com

不動産の「賃貸」「管理」「売買」の事なら
溝の口駅すぐの株式会社エヌアセットへ



■11月30日(日)8:30~
■エヌアセット本店駐車場
※野菜がなくなり次第終了。
詳しくは問い合わせ下さい。

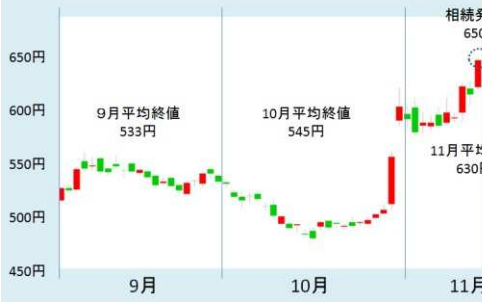
詳しくはwebサイトから
エヌアセット

044-877-2634

FP三島木のマネーセンスアップ講座 vol.35

た月の平均終値、前月の平均終値、前々月の平均終値から一番低い額を採用することができます。例として右記会社の株式はこの所調子よく上昇しており相続が発生した日は650円の株価でした。9月は概ね533円位でしたので2ヵ月で300万円も資産が増えてしまったことになってしまいます。上場株式には相続発生日を含み、3ヵ月の終値平均の一番低い値という数字を使えますので覚えておきましょう。

三島木産業HD 株価



三島木産業HDの株式を30,000株相続
650円の場合=1950万
630円 = 1890万
545円 = 1635万
533円 = 1599万

建物:固定資産評価額
土地:路線価

土地面積
130㎡
255,000円×130㎡
=3315万



相続

相続評価を簡易試算

上場株式は有利な選択が可

今回は相続時の評価についておさらいをしておきましょう。簡易的な計算でも概ねは導けますので計算してみると良いでしょう。建物は「固定資産評価額」で評価を行います。毎年固定資産税の明細が来ると思います。明細の評価額という欄で確認してみてください。土地は国税庁が公表している「路線価」から計算します。左図の地図のような所に土地がある場合、道路に記載された数字が1㎡当たりの金額になります。例題では255と記載がありますので

1㎡255,000円となります。土地が不整形であったり、間口が狭かったりする場合は別途補正があります。一番簡単な計算で大よその目安を知っておくと良いでしょう。上記計算では3,315万と高額ですが、居住用の土地には「小規模宅地等の特例」があり、相続する方法により評価が一定面積まで80%減になる制度があります。詳しくは家庭内FP育成講座などで参照ください。

また最近の株式市場は大きく値が上下して慌ただしいので上場株式の相続時の評価についても知っておきましょう。原則は被相続人が亡くなった日の終値がベースとなりますが、たまたまその日に何か良い発表がありストップ高になってしまったらそれだけで相続評価も上がってしまいます。そのような事を防止する為に相続時の上場株式の評価は図で表したように相続が発生し

2015年
最新版

家庭で学ぶマネー講座 web版 Vol1.投資

溝の口夜大学

mizo-univ.org

本日発売

1,620円

1科目(税込)



■投資経済編 講座内容■

VOL1. 投資

「インフレとインフレ資産」「為替と世界金利」「各市場の動き」
「分散投資と相関」「投資法によるリターンの差」「積立投資パフォーマンス」

VOL2. 年金・保険(12月26日発売)

「公的年金」「遺族年金」「減債基金係数」
「保険基礎」「投資と保険」「保険の見直し」

VOL3. 不動産(1月26日発売)

「価格決定」「ローン金利」「公示価格・路線価」

VOL4. 相続・税制(2月26日発売)

「遺産分割」「相続の評価」「小規模宅地」「簡単計算」
「税制解説」「配偶者の税制」「税額控除」など

1科目約60分収録。必要な知識を広く学べます。全4科目

ネット環境があればすぐに勉強できます。

～～お問い合わせ・申し込み～～

☎044-814-3553

✉info@fp-research.jp

詳しくはwebサイトから mizo-univ.org

溝の口夜大学

検索

Click!

勉強はとっても簡単!

Step1. 教材のダウンロード(パソコン等へ保存)

Step2. 動画URLへアクセス(YouTube限定公開チャンネル)

☑好きな時に好きなだけ勉強でき、繰り返し学べます。

☑教材の郵送も可能(送料込+1,620円)

☑質問はメール相談が出来ます。

株式マーケットウォッチ

market research



2014年11月26日号 第11号

今後1カ月のマーケット予測

11月は10月に続いて堅調な推移を見せた。先月大きく上昇したドルの強さが維持されたことが最大の要因。約4ヵ月で16%程度上昇しているドルの過熱感も指摘されたが、安定的になってきたと考える。日経平均は年初から18,000円の期待値があっただけに、最後の1ヵ月でトライする場面が見られるかもしれないが、やや強引かもしれない。

日本経済では解散総選挙があり、順当に自民党が過半数を確保することで市場は好感される。想定外に野党が好成績を抑めると相場的にはマイナスとなりそう。

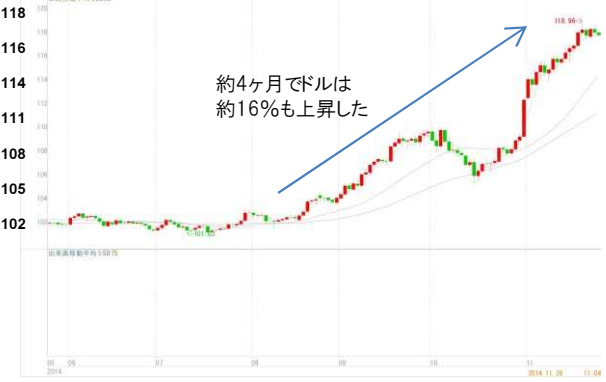
今後1カ月の日経平均の予想レンジは再度高値を固めに行くと考えるのが自然で18,100円〜16,800円とみるがその条件にはドル円相場は118円台で安定し、120円を伺う状況が欲しい。ドル円相場は116円00銭〜121円程度の予測。

10年国債利回りは0.4%台後半で横ばいの想定。

日経平均株価(1年)



ドル/円6ヶ月チャート



※株式マーケットウォッチに記載されている内容はFP三島木の個人的な見解であり投資成績の保障をするものではありません。投資におきましてはリスクを十分に理解し自己判断の上行うよう注意してください。

先月配信の振り返り

	予測	結果	精度
日経平均	15,100円 ~16,500円	15,333円 ~17,520円	△
ドル円	106.00~111.00	107.57~118.96	△

10月配信	配信時株価	目標株価	結果	騰落率
キュービー	1,837円	1,950円	1,943円	+5.77%

10月配信	配信時株価	目標株価	結果	騰落率
三菱商事	2,044.5円	2,200.0円	2,262円	+10.63%

注目銘柄 11月26日終値

	注目銘柄1	注目銘柄2
銘柄名	アスクル	クックパッド
市場	東証1部	東証1部
株式コード	2678	2193
現在株価	2,149円	3,800円
目標株価	2,400円	4,000円

GDPで企業の設備投資などが中々伸びていなかったが企業の事務用品などの販売が主力のアスクルに注目した。景気が悪い訳ではない事と企業への間接的な緩和などがあれば同社も期待から買い戻されると考える。今現在は割安な水準。クックパッドは公募増資を嫌気され売られていたが切り返し。海外での公募増資という事と、海外展開を含めた増資であるため前向きに評価したい。

大きく進んだ円安から日経平均は大幅に上昇した。消費税増税先送りから緩和期待も高まり、ドル円は118円まで上昇し株式市場を牽引する格好となった。年末日経平均18,000円も意識されている中で上昇速度は速かった。キュービーは一時相場来高値まで更新も配当権利落ちにて目標株価に留まる。配当+優待が優れる為権利落ちは大きかった。三菱商事も順調に上昇し株価は安定的になっている。